

# 第3期「ながさき農林業・農山村活性化計画」(仮称) 素案について

基本理念：若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指します。

## I 次代につながる活力ある農林業産地の振興

### I-1 次代を支える農林業の担い手の確保・育成

- 産地主導型就農ルートによる農家出身者のUターン等による新規自営就農者の増大
- 外国人等多様な人材の活用による労力確保
- 認定農業者の所得向上に向けた経営改善 等



就農希望者への技術研修

R7  
目標

- ◆新規自営就農者・雇用就業者(農業・林業) 641人/年(H30の15%増)
- ◆認定農業者数5,500経営体(維持)



特定技能外国人

### I-2 生産性の高い農林業産地の育成

- スマート農林業技術の導入(非接触、省力化・安定生産等)による産地の維持拡大
- 水田汎用化・畑地化による園芸産地の拡大 等



環境制御技術による施設園芸の多収化

R7  
目標

- ◆農業産出額1,714億円(H30の14%増)
- ◆林業産出額90億円(H30の20%増)



牛の発情を遠隔監視

### I-3 産地の維持・拡大に必要な生産基盤、加工・流通・販売対策の強化

- 生産基盤の整備、農地集積・集約化の推進
- 食品事業者との連携強化による安定取引の拡大
- 産地の育成や新規開拓による輸出拡大 等



冷凍野菜工場

R7  
目標

- ◆担い手の農地利用集積面積21,600ha(H30の11%増)
- ◆農産物・木材輸出額1,265百万円(H30の64%増)



アメリカでの九州フェア

## II 多様な住民の活躍による農山村集落の維持・活性化

### II-1 農山村集落に人を呼び込む仕組みづくり

- 農山村の魅力の発信等による関係人口の拡大
- 半農半X等多様な住民の移住・定住促進(田園回帰、リモートワーク等にも対応)
- 農山村地域の防災・減災対策の推進 等



五島リモートワークプロジェクト

R7  
目標

- ◆農山村集落数 2,927集落(維持)
- ◆農山村地域への移住者数 191人/年
- ◆老朽ため池・山地災害危険地区(Aランク) 着手箇所 933箇所



集落環境整備



山地防災対策

### II-2 農山村地域全体で稼ぐ仕組みづくり

- 地域の「顔」となる産品づくり
- 農家レストランや農泊等の地域ビジネスの展開
- 地域貢献活動の実施等、直売所の機能強化 等



言岐ゆずごしょう

R7  
目標

- ◆アグリビジネス売上額127億円(H30の6%増)
- ◆農泊宿泊者数 68,000人(H30の12%増)



うどんづくり体験



直売所の移動販売